

紫外線保管庫 アポロンキーパー-A2

取り扱い説明書

ご使用前によくお読みください

1 特長

- ① 紫外線による殺菌ですので、化学薬品や熱、蒸気などによる消毒が困難な器具類も容易に消毒できます。
- ② 殺菌灯から照射される紫外線により、保管庫内は常に滅菌状態を保っていますので、消毒後の器具の保管用として使用できます。
- ③ 保管庫内は、特殊加工を施した反射板によって120 $\mu\text{W}/\text{cm}^2$ 以上の紫外線をすみずみまで照射する様に設計されています。
- ④ 器具の出し入れの際、紫外線を直視しないように窓を開けると照射が止まる構造になっています。

2 使用方法

- ① 水平で安定した台の上に設置してください。
- ② 電流は交流100V (30W) のコンセントを使用し、たご足配線は避けてください。
- ③ 滅菌後の器具をアミ棚の上にのせ、扉を確実に閉めた後、スイッチをONにしてください。

寸法	: W520×H410×D300(mm)
重量	: 13.5kg
電力	: AC100V 30W 50Hz/60Hz
殺菌灯	: 15W×2
点灯方式	: ラビットスタータ方式
棚素材	: ステンレス網棚×2

ご注意

- 1) 殺菌ランプより放射される紫外線(殺菌線)は有害で、点灯中のランプを短時間見つめただけでも、あとで眼が痛くなり、結膜炎に似た症状を起しますので、紫外線を直接眼に入れる事は避けて下さい。
- 2) 殺菌ランプ点灯中の殺菌線出力は、殺菌ランプのガラスの劣化等で、透過率が悪くなります。定格寿命時間以上点灯した場合、初期の殺菌効果が得られませんので、定期的なランプの交換をして下さい。
- 3) 殺菌ランプや反射板が、ホコリや油煙で汚れますと、殺菌効果が著しく低下します。常に殺菌ランプや反射板の清掃に心がけて下さい。
- 4) 殺菌ランプは、波長185nmの紫外線を、ほとんど放射されないように設計されていますが、殺菌ランプ点灯時に、多少オゾンが発生し臭う場合があります(特に蒸気影響はありません。この波長185nmの紫外線は、空気中の酸素をオゾンに変える作用がありますが、ごく少量のオゾンは防臭の効果があります。)
- 5) 殺菌線をさざらないために、消毒すべき器具を積み重ねたりしないで下さい。又消毒すべき器具の油成分は、殺菌線を吸収し消毒効果を減少するため、油成分を取り除いて下さい。
- 6) 塩化ビニール系以外の合成樹脂製品は、長期間殺菌線にふれると、変質する事があります。塩化ビニール系以外の合成樹脂製品の使用は避けるよう心がけて下さい。
- 7) マグネットアークマイクロスイッチは取扱者を保護するものです。点検が確実であるかどうか、購入時に点検して下さい。(出荷時点検済ですが、輸送中のトラブル等があるため)

3 殺菌灯について

- ① 定格寿命は約3000~4000時間ですが、紫外線放射強度が使用後約2000時間で、新品時の約80%に低下しますので、それを目安に新しいものと交換して下さい。
- ② 殺菌灯の交換は、2灯一緒に行ってください。

厚生省の試験データ

殺菌灯の殺菌効果はどれほど高いか?

紫外線による殺菌は、菌の種類や生体条件により効果は異なるが、すべての菌種に対し有効で、かつ対象となる菌に耐性を与えることがない。一般に照射時間を2倍にすれば放射強度を1/2にしても同じ殺菌効果を与えられる。15W殺菌灯器具を用いた試験結果が右表であるが、殺菌灯はこのように細菌やウイルスを殺菌する強い作用をもっている。もちろん、エイズ、B型肝炎ウイルスにも有効です。

●殺菌灯の殺菌力試験結果

照射時間	大腸菌		腸チフス菌		赤痢菌		ブドウ球菌		枯草菌		結核菌(菌芽)	
	生体菌数	殺菌率%	生体菌数	殺菌率%	生体菌数	殺菌率%	生体菌数	殺菌率%	生体菌数	殺菌率%	生体菌数	殺菌率%
0秒	8,900	0	28,000	0	11,000	0	25,000	0	3,600	0	8,100	0
15秒	220	97.5	660	97.6	300	97.3	20	99.4	/	/	/	/
30秒	17	99.8	67	99.8	26	99.8	26	99.9	130	96.4	170	97.9
45秒	3	99.97	11	99.96	0	99.99	0	99.99	/	/	/	/
60秒	0	100	0	99.99	3	99.97	0	100	1	99.97	7	99.91
90秒	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
120秒	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100	0	100
240秒	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/	/

(備考) 使用ランプは1,000時間使用後の15Wのもので、5000時間の定格寿命から、最大照射上の発生熱が、菌類に与える影響は極めて小さい。